

令和7年度 学習指導計画

教科	数学	科目	数学Ⅲ	単位数	4単位
学科・類型		普通科Ⅱ類(理系)		学年	第3学年
使用教科書		Next 数学Ⅲ 数研出版			
使用副教材等		Connect 数学Ⅲ 数研出版			

【学習の到達目標】

学習の到達目標	<p>微分積分の基本的な計算を正確にかつ早く実行できる。 考え方、解き方を覚える際、状況分析からの妥当性や自然さを関連させて把握し、問題に対処することができる。</p>
---------	---

【学習指導計画及び評価方法等】

	学習内容	学習のねらい・指導上の工夫点・留意点
1 学 期	第1章 関数 第2章 極限 第3章 微分法 微分係数、導関数 まで 上記範囲は2年次に学習済 第2節 導関数 第4章 微分法の応用 第5章 積分法 第1節 不定積分	単純な公式暗記に走るのではなく、公式や概念の妥当性を自分で考えられるように指導する。合わせて、正確性だけではなく、速度向上も進めていく。
2 学 期	第2節 定積分 第3節 積分法の応用 以後、数学Ⅲ範囲の入試演習	単純な公式暗記に走るのではなく、公式や概念の妥当性を自分で考えられるように指導する。合わせて、正確性だけではなく、速度向上も進めていく。
3 学 期	数学Ⅲ範囲の演習	単純な公式暗記に走るのではなく、公式や概念の妥当性を自分で考えられるように指導する。合わせて、正確性だけではなく、速度向上も進めていく。

令和7年度 学習指導計画

教科	数学	科目	数学演習 A	単位数	2 単位
学科・類型		普通科Ⅱ類(理系)		学年	第3 学年
使用教科書					
使用副教材等		メジアン 数学演習 I・II・A・B・C 数研出版			

【学習の到達目標】

学習の到達目標	<p>入試レベルの思考になれる。</p> <p>発表や解答を正しく記述し、第3者に正しく自分の考えた過程や根拠を伝えることができる。</p>
---------	--

【学習指導計画及び評価方法等】

	学習内容	学習のねらい・指導上の工夫点・留意点
1 学期	<p>式と計算</p> <p>恒等式 割り算の問題</p> <p>場合の数と確率</p> <p>図形と方程式</p> <p>三角・指数・対数関数</p> <p>数列</p> <p>ベクトル</p>	<p>テキストの入試問題をあらかじめ予習し、授業で順番に発表する。</p> <p>その際正しく考えられているの確認と正しく解答が記述できているかを指導する。</p>
2 学期	<p>方程式と不等式</p> <p>2次関数と2次方程式</p> <p>等式の証明</p> <p>集合と論証</p> <p>整数</p> <p>図形の性質</p> <p>三角比</p> <p>微分法と積分法</p>	<p>テキストの入試問題をあらかじめ予習し、授業で順番に発表する。</p> <p>その際正しく考えられているの確認と正しく解答が記述できているかを指導する。</p> <p>上記と併せて、大学入試の問題を実際のセットの中でどのように取り組むとよいかの演習を実施する。</p>
3 学期	<p>入試対策演習</p>	<p>テキストの入試問題をあらかじめ予習し、授業で順番に発表する。</p> <p>その際正しく考えられているの確認と正しく解答が記述できているかを指導する。</p>

令和7年度 学習指導計画

教科	数学	科目	数学演習 B	単位数	2 単位
学科・類型		普通科Ⅱ類(文系)		学年	第3 学年
使用教科書					
使用副教材等		Basic style 数学演習 I II A B C 数研出版			

【学習の到達目標】

学習の到達目標	1年2年で習った内容について、基本的な問題の処理ができる。 志望校に併せて、どのような力を求められているかを分析し、自分で必要なことを計画立てて取り組むことができる。
---------	--

【学習指導計画及び評価方法等】

	学習内容	学習のねらい・指導上の工夫点・留意点
1 学期	数学 IA の範囲の復習	1年次の内容について復習をする。忘れていているところが多いと予想されるので、基本に関してはどの単元についても復習を実施する。特に、2次関数、三角比については典型問題をしっかりと解き切ることを徹底させる。また、場合の数、確率などの多くの生徒が苦手とする単元については、重点的に対策する。
2 学期	数学 IA の範囲の復習 過去問演習	1年次の内容について復習をする。忘れていているところが多いと予想されるので、基本に関してはどの単元についても復習を実施する。特に、2次関数、三角比については典型問題をしっかりと解き切ることを徹底させる。また、場合の数、確率などの多くの生徒が苦手とする単元については、重点的に対策する。
3 学期	入試対策	1年次の内容について復習をする。忘れていているところが多いと予想されるので、基本に関してはどの単元についても復習を実施する。特に、2次関数、三角比については典型問題をしっかりと解き切ることを徹底させる。また、場合の数、確率などの多くの生徒が苦手とする単元については、重点的に対策する。

令和7年度 学習指導計画

教科	数学	科目	数学演習 C	単位数	2 単位
学科・類型		普通科 I 類		学年	第 3 学年
使用教科書					
使用副教材等		数学基本ワーク 増進堂			

【学習の到達目標】

学習の到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 数学の問題を解くことで、物事を集中して考え、あらゆる情報を駆使して問題を解決しようとする姿勢を身につける。 2. 数学的活動を通して創造性の基礎を培うとともに、数学的な見方や考え方のよさを認識し、仲間と協働しそれらを積極的に活用する態度を育てる。 3. 就職試験、看護学校などの入試問題を解くことができる。
---------	--

【学習指導計画及び評価方法等】

	学習内容	学習のねらい・指導上の工夫点・留意点
1 学 期	数の計算 因数分解 約数と倍数 確認テスト 根号を含む式の計算 式の値 1 次方程式 比例式 連立方程式 2 次方程式 1 次不等式 2 次不等式	整式の演算を理解し、各問題を解くことができる。 乗法公式、因数分解を利用し、各問題を解くことができる。 平方根の計算を処理できる。 式を工夫して計算処理ができる。 方程式を解くことができる。 不等式を解くことができる。
2 学 期	文章問題 1 次関数とグラフ 2 次関数とグラフ 確認テスト 図形と角 合同な図形 相似な図形 円 図形の面積 三平方の定理 立体の表面積・体積 三角比 規則性の問題 場合の数 順列 組み合わせ	関数の定義を理解している。 文章を理解し、式化して解くことができる。 1次関数を活用できる。 2次関数について理解を深める。 三角比を理解し、それらを利用して各問題を解くことができる。 平面図形について理解し解くことができる。 場合の数について理解を深め解くことができる。t
3 学 期	まとめ	定期考査

